

科目名 Subject	ネイルアート研究 Nail Art Studies			教員名	ネイルチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	4単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	○			○		
科目の概要	ネイルアーティストとしての心構えから爪に関する基本的な知識を伝授し、爪の健康を考えたケア方法やカラーリング、各種つけ爪や流行のジェルネイルの知識と装着法を習得する。更に、ポリッシュデザインからエンボス、ジェルアートまで、色彩学を含めた理論と実習授業を行なう。					
授業方法	オンライン授業と対面授業によるハイブリッド					
授業の目標	全身美容の一つとしてネイル技術は欠かすことの出来ない技術であるということを理解し、様々な爪の状態に対応できるようになる。年齢を問わず指先の健康を守るという基本概念をしっかりと理解し、ネイルの基礎知識や材料学、話題の最新ネイルの技法を分析することができるようになる。また、ネイルアートの構図や美的効果など実体験を通じて、お客様に合わせたデザインを考えることが出来るようになる。					
時間外学習（予習・復習）	授業で習ったことを復習し、頭と身体の両方で覚えていくようにする。また、授業後はノートを整理するよう心掛け、授業以外においても各自で反復練習を行う。ネイル実技においては1回につき120分程度の復習を行なうことが望ましい。					
教科書・教材	教科書		『ネイル・プロフェッショナル』 第4版 発行：株）インターメディカル 出版年：2011年			
	教材		個人配布教材は授業内で配付します。他共有教材を使用する。			
	使用設備・備品		なし			
	参考文献		なし			
評価方法	次の3点を総合的に評価します。授業に参加をしないと知識や技術が得られないので、まずは授業参加態度を評価します（40%）。また、毎回作成するネイル技術の仕上がりや作品を評価します（20%）。筆記と実技のテストを評価します（40%）。					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	授業の実習について開講期間中はナチュラルネイルとし、カラーリング、人工爪などは全て除去してください。授業内で迷惑行為にあたる言動は慎むこと。実技はプラクティスハンドと自爪で行います。毎回マスクと実習着またはエプロンを着用してください。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	ネイルの基礎知識 ネイルケアの概念と方法 衛生管理の知識と方法	ネイル衛生管理の知識とネイルケアの技術を関連付けることができる	ネイルの基本材料があれば持参する。
第 2 回	ネイルの基礎知識 ネイルケアの概念と方法 衛生管理の知識と方法	ネイルケア技術の手順を述べることができる	
第 3 回	ネイルケアとカラーリングの実習	ファイリングとキューティクルニッパの動かし方を覚え、スムーズに道具を扱うことができる	
第 4 回	ネイルケアとカラーリングの実習	カラーリングが短時間でムラなく塗れるようになる。	
第 5 回	スカルプチュアネイル（つけ爪）の種類と材料学、概念と装着方法を学ぶ。	付け爪の材料と道具の役割を学び、つけ爪とは何か、を説明できる	マスク、ペーパータオルを持参。
第 6 回	スカルプチュアネイル（つけ爪）の種類と材料学、概念と装着方法を学ぶ。	付け爪の正しい装着方法を身につけ、爪の形を理解して形成することができる。	
第 7 回	モデルハンドにスカルプチュアネイルの実習を行なう。	仕上がりの爪の形を考えて作製することができる	
第 8 回	モデルハンドにスカルプチュアネイルの実習を行なう。	自然な爪の形のスカルプチュアを作ることができる。	
第 9 回	フレンチスカルプチュアネイルの知識と装着方法を学ぶ	フレンチのスマイルラインが作れるようになる。	
第 1 0 回	フレンチスカルプチュアネイルの知識と装着方法を学ぶ	爪の形に合わせてフレンチスカルプチュアのスマイルラインを作製することができる	
第 1 1 回	生徒同士でフレンチスカルプチュアの実習をする。	相手の爪の状態を見極めて、フレンチスカルプチュアの技術を施術することができる	
第 1 2 回	生徒同士でフレンチスカルプチュアの実習をする。	相手の爪の形に合わせて、フレンチスカルプチュアの技術を施術することができる	
第 1 3 回	ソフトジェルの概念、材料学と装着方法を学ぶ。	ソフトジェルの特性を学び、ハンドモデルを使用して、ジェルの技術を行うことができる	楊枝、フویلを持参。
第 1 4 回	ソフトジェルの概念、材料学と装着方法を学ぶ。	ジェルを爪の表面にムラなく塗布することができる	楊枝、フویلを持参。
第 1 5 回	ソフトジェルの実習。	ジェルの特性を理解し、爪の長さを人工的に延長させる技術をおこなうことができる	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 6 回	ソフトジェルの実習	ジェルの特性を活かして、爪の長さを人工的に延長させる技術を行うことができる	
第 1 7 回	ソフトジェルのフレンチデザインの実習	フレンチスタイルのデザインを形成することができる	
第 1 8 回	ソフトジェルのフレンチデザインの実習	仕上がりの爪の形を考えて、フレンチスタイルをデザインすることができる	
第 1 9 回	マーブルなどデザインの実習	ジェルの技術を応用して、マーブル模様のデザインを作製することができる	
第 2 0 回	マーブルなどデザインの実習	ジェルの技術を応用して、色彩を考えながらマーブル模様のデザインを作製することができる	
第 2 1 回	エンボスアートと3アートDの基本概念と実習	ネイルサロンを意識して、単純なアートを作ることができる	
第 2 2 回	エンボアートと3Dアートの基本概念と実習	コンペティションを意識して、繊細なアートを作ることができる	
第 2 3 回	ネイルペインティングの基本概念と実習。	アクリル絵の具を用いて、モチーフのバランスを考えて描くことができる	
第 2 4 回	ネイルペインティングの基本概念と実習。	アクリル絵の具を用いて、モチーフのバランスと配色を考えて、描くことができる	
第 2 5 回	ポリッシュデザインの基本概念と実習。	ポリッシュデザインの応用として、フレンチスタイルを作製することができる	
第 2 6 回	ポリッシュデザインの基本概念と実習。	相手の手の肌色を見極めて適正なポリッシュの色の選択と組み合わせができるようになる。	
第 2 7 回	総括実技	ネイル技術において自分に不足している部分を確認し、次回の授業に向けて熟練する	
第 2 8 回	総括実技	ネイルサロンでの作業を意識して、技術の所要時間を測定する	
第 2 9 回	総括実技確認及び理論確認	爪の基礎知識、材料学について振り返り、今後補うべき知識を知る。	
第 3 0 回	総括実技確認及び理論確認	爪の基礎知識、材料学、技術などを確認し、今後補うべき技術と知識を知る。	